

フューザブル™ シングルスピーシズ(バコパ): ユートピア

学名: *Sutera cordata*

ペレット粒数の目安: 500 から 700 粒/グラム

形態はマルチペレット

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。pH は 5.5 から 6.0、EC 値が 0.75mmhos/cm(2:1)の培地を用いる

トレイサイズ

288 穴、105/128 穴、72 穴、あるいはそれと同等のやや大きなサイズのトレイを用いる

播種

播種時は、マルチペレットに覆土はしない。播種後はペレットを完全に融解させるよう十分に、ウォータートンネルやミストを使って水分を含ませる

ステージ 1 - 発芽には概ね 4 日を要する

温度: 20 から 23°C

光条件: 発芽段階では 100 ルクス(10 f.c.)が必要

水分: 発芽期間中はやや湿潤(level 4)を維持する

湿度: 子葉が発生するまでは相対湿度を 95 から 99% で維持する

ステージ 2

地温: 20 から 21°C

光条件: ステージ 2,3 では、最大で 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: ステージ 2,3 では、標準(level 3)からやや湿潤(level 4)の範囲で維持する

肥料: レート 1(100ppm(N)、EC 値が 0.7mS/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える。培地の pH は 5.8 から 6.2 を、また EC は 0.5 から 0.7 mS/cm(1:2)を維持する

ステージ 3

地温: 18 から 21°C

肥料: 肥料の濃度をレート 2(100 から 175ppm(N)、EC 値が 0.7 から 1.2mmhos/cm)に上げる。培地の pH は 5.8 から 6.2 を、EC は 0.7 から 1.0 mS/cm(2:1)を維持する

矮化剤: 苗が適切な時期に出荷され移植されるのであれば、プラグ生産ステージでは矮化剤は不要

※ 北西ヨーロッパのように、光が質、量ともに不十分な条件などでは、プラグ苗の色づきを整えるため 640 から 950ppm の B ナイン散布が有効である

ステージ 4

地温: 15 から 18°C

光条件: 温度のコントロールが可能なら、53,800 ルクス(5,000 f.c.)まで可能

水分: 標準あるいは中庸(level 3)を維持する。苗は一度枯らすと立ち直るのが難しいので、乾燥させすぎないように注意する

肥料: 上記ステージ 3 と同じ

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

25 から 30cm コンテナ/バスケット:

3 から 4 本定植

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。pH は 5.5 から 6.2 が適正。培地の初期の養分量は中庸とする

温度

昼間温度: 15 から 24°C

夜間温度: 13 から 16°C

ユートピアは約 10°C の低温でも育つが、生産期間は通常の条件よりも長くなる

光条件(照度)

温度が適切に維持されている間は、できるだけ高い条件を維持する

肥料

移植の 1 週間後から、リン酸分の低い硝酸態を主体とした肥料をレート 3(175 から 225ppm(N)、EC 値:1.2 から 1.5mS/cm)の濃度で与える。株の生育具合を見ながら、必要であればアンモニア態と硝酸態をバランスよく使って株に勢いをつけさせる。培地の pH は 5.8 から 6.2 を、EC は 1.5 から 2.0mS/cm を維持する。

かん水

株を枯らさないように注意する。ストレスで花や花芽が落ちてしまうことがある

矮化処理剤【北アメリカ仕様】

光条件が適切で低温で管理されていれば矮化剤は不要である。温度の高い条件では、必要であれば B ナインによる 1 回の処理が有効である。移植後 2 週間をめどに 1,000 から 1,500ppm を散布する

矮化処理剤【北西ヨーロッパ仕様】

B ナインの 2,500ppm の葉面散布が有効である。必要であれば、サイコセル 375ppm によるフォローアップも可能

平均的な生産期間

播種から移植まで(288 穴トレイ): 4 週
播種から移植まで(128/105 穴トレイ): 5 週
播種から移植まで(72 穴トレイ): 5 から 6 週

移植から開花まで(288 穴トレイ): 6 から 7 週
移植から開花まで(128/105 穴トレイ): 5 から 6 週
移植から開花まで(72 穴トレイ): 4 から 5 週

コンテナ サイズ	植付本数 /ポット	播種から開花 までの週数
25 から 30cm コンテナ/ バスケット	4 株	10-12 週

病例等

害虫: ホワイトフライなどに注意

病気: とくに報告例はない

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

EC 値について: EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合があります。